

## 第3回「卒業証書授与式」 令和5年3月17日



6学年の担任の先生が、思いを込めて卒業生一人一人の名前を呼びました。卒業生は大きな声で返事をしてステージに上がりました。校長先生から卒業証書を受け取る姿は堂々として、とても立派でした。



退場の場面では、6人の担任の先生方が卒業生の後ろ姿を見送りました。卒業生は、「遙か」(G R e e e e N)の曲に合わせて退場しました。拍手で見送られ、厳粛さと温かな雰囲気にもまれた素晴らしい卒業式となりました。



式全体を通じて、卒業生はマスクを外し、大きな声で呼びかけをしたり、力強い合唱を披露したりすることができました。在校生からの心のこもったお祝いメッセージがスクリーンに映し出され、感謝の気持ちを伝え合いました。



式終了後、6学年PTA卒業委員会による「卒業を祝う会」が行われました。委員長さんの挨拶に続き、先生方が楽しい呼びかけを披露し、会場は大きな拍手と笑い声に包まれていました。

### 連載コラム 公子の部屋

「ナニコレ珍百景」の取材依頼があったのは、冬休みが明けて間もなくのことです。そんな「珍」なことって本校にあったっけ?と最初はびっくりしましたが、給食の「たら汁」のことを取材したいとのこと。二つ返事でOKしました。取材があった1月26日は大雪の日でしたが、テレビ朝日のディレクターは大きな荷物を抱えて一人でやってきました。たった一人でインタビューやカメラ撮影も担当するのだそうです。中央局でも、予算は厳しいですね、きっと……。

給食まで時間があるので、授業や外の雪遊びの様子なども撮影していましたが、休み時間になると子どもたちがカメラの前にどんどん寄ってきて、押すな押すなの大盛況。ディレクターは後ずさっていました。うまく撮れたのでしょうか。

給食については、高学年の教室を中心に撮影したりインタビューしたりしていました。給食を食べて「たら汁、たんげんめー!!」となかなかのリアクションをしてくれる子もいました。(全国放送の場合は「たんげんめー」の下に標準語のテロップも流れるのかな?)その後、校長室で「たら汁についての説明をしてくれませんか。」と言われ、言うセリフまで指定されました。Take1:「この給食は、たら、たら汁で……」途中でセリフ間違えてNG。Take2:今度は失敗できないと気合いを入れて言ったら、テレビショッピングのようにわざとらしくなってしまう、ディレクターに「えー。普通

に言ってください。」「あっすみません。」でNG。3回目にして初めてOKをもらいました。子どもたちも一日中、カメラが気になるのかそわそわしながら過ごし、ディレクターは「放送は2月の末か3月です。3分くらいは流したいですね。放送日決まったら電話します。」と言い残し、帰っていきました。

しかし!待てど暮らせど電話は来ない。そうしているうちに3月5日の放送内容の予告欄に全国給食特集と書いているではないですか。もしや連絡なしで放送するの?と思い、放送を見たら、5~6校の給食は流れたけど、本校は流れず。もしかしたら本校はボツ?と思い、ディレクターに直接電話をかけてみました。そうしたら、「3月26日にもう一度給食特集やるんですよ。そこで流れると思います。黒石東の画像、まだ編集していないのでどれくらいの尺で流れるかはわかりませんが。放送が決まったら連絡します!」という回答でした。しかし、この原稿を書いている3月19日現在はまだ連絡がきていません。とにかく1秒でも長く、一人でも多くの子が映っていることを願っているのですが……。とりあえずみなさん、3月26日(日)の「ナニコレ珍百景」をチェックしてみてください。

今年度、このゆるいコラムに付き合ってください、皆さんありがとうございました。